

2 もくじ／今月のイチオシ！

3 特集 春の交通安全運動期間
～みんなで守る命 みんなで防ぐ交通事故～

6 交通ルールが変わりました

7 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

8 国民健康保険のお知らせ

9 後期高齢者医療保険料

10 すくーらいうふ（竜北中学校）

12 まちのトピックス！
野菜組織活動コンクール／八火図書館本まつり
／氷川町文化講演会／防災連携訓練／氷川町公
民館大会・人権啓発集会／家庭教育支援功労者
表彰／氷川町ひなまつり展／初市「ふれあいま
つり」／高齢者叙勲伝達式／全国大会出場者激
励会／町内中学校で卒業式

15 まちづくり団体のネットワークと人材育成

16 4月カレンダー
行事予定表／休日在宅医／まちへのホットライン／
休日救急歯科診療

18 環境美化に努めましょう

19 平成26年度は大野の一部（中大野・本山）を調査します

20 けんこうだより

21 こころの健康コーナー／認知症キャラバンメイトだより

22 清流氷川だより

23 ひかわスポーツクラブたより！！

24 立神峡里地公園だより

25 町民文芸

26 暮らしの情報

31 伝言板／ひとのうごき

32 ひかわっ子写真館／第9回氷川町特産料理コンクール／
編集後記

今月のイチオシ！

県産豊表をPR
全国赤ちゃんハイハイ大会

3月8日、イオン八代ショッピングセン
ターにおいて、全国一の生産量を誇る八代地
域のいぐさ・豊表をPRするイベントである
「第2回全国赤ちゃんハイハイ大会on the
豊」が行われました。

この日は1歳未満の赤ちゃん63人、氷川
町からも島田彩聖くん（上鹿島）が会場、
豊2枚分（約4分）の距離をハイハイして、
ゴールを競いました。

レースが始まると、お父さん・お母さんは、
おもちゃなどを使って、赤ちゃんを必死に
ゴールまで導いていましたが、中には座り込
んだり、寝てしまう子もあり、会場は笑いに
包まれていました。

県産豊表は外国産に比べ、天然の美しさ
を長く保ちます。進んで使いたいです。



▲マスコットキャラクター「たあみ」も豊表をPR



▲座り込んでしまう赤ちゃんも

特集 春の交通安全運動期間

～みんなで守る命 みんなで防ぐ交通事故～

4月6日から4月15日までは春の交通安全運動期間です

■県内・町内における交通事故の発生状況

	熊本県内	氷川町内
平成20年	11,522 (98)	75 (0)
平成21年	11,157 (88)	74 (1)
平成22年	10,830 (78)	66 (1)
平成23年	10,475 (86)	55 (0)
平成24年	9,817 (82)	64 (1)
平成25年	8,732 (82)	47 (0)

単位：件 ※かっこ内は死者数

熊本県内および氷川町内
における交通事故の発生
状況

左の表は、平成20年以降の県
内および町内における交通事
故の発生状況です。

交通事故の発生件数は減少
傾向にありますが、事故により
亡くなった人は横ばいの状況に
あります。

県内における
交通事故の特徴

平成25年中に県内で発生し
た交通事故で亡くなった人82
人のうち、54・9％にあたる45
人が65歳以上の高齢者でした。

また、自動車に乗車し亡く
なった人26人のうち、53・8％
にあたる14人がシートベルト
非着用であり、これらの人のう
ち、11人はシートベルトを着用
していれば助かったと考えられ
ます。

事故発生を時間帯で見ると、
17時から19時までの薄暮時間
帯、7時から9時までの通勤・
通学時間帯に事故が多発して
います。

高齢者の死亡事故は依然と
して多く、後部座席のシートベ
ルト着用はいまだに低調な状
況にあります。

基本的なルールを守り、普段
から交通安全に意識を持つこ
とが大切です。

昨年、全国で4373人が交通事故により命を落としました。
交通事故の発生件数・死者・死者・死者は減少傾向にあるものの、
高齢者の死者数が12年ぶりに増加するなど、依然として交通情勢
は厳しい状況にあります。

交通事故は被害者にとっても、加害者にとっても、将来を大きく
揺るがすような悲しい結末を招きます。

交通事故を減らすためには「一人一人の意識」が大切です。今月
は交通安全について、改めて考えてみましょう。